

おととひかなし

乳幼児に絵本の
読み聞かせを
—改訂版—

東京都立多摩図書館 編





絵本は子育てのお手伝いをしてくれます。

子育てには楽しいときも、つらいときもあります。

子供は元気に遊び、機嫌がよいときもあれば、ぐずったり、わがママを言ったり、体調を崩すときもあります。そんなときには、子供を抱きよせて、お気に入りの絵本を読んでみましょう。読む時間はたった5分か10分でも、子供が受ける喜びや満足感は、読み終わった後も一日中ずっと続きます。絵本が近くにあることは、子育てにちょっと疲れた大人にとっても、うれしいことです。絵本は子育てのお手伝いをしてくれます。





子供はおはなしが大好きです。

子供は、身近な人からおはなしをしてもらうことが大好きです。私たちの遠い祖先が、燃える火を囲んで、長老の語る昔話や神話に耳を傾けたように、今の子供も、おはなしを心から楽しめます。驚きや共感、不思議な思いや未知へのあこがれをもたらしてくれるおはなしを聞くことで、子供は深い喜びを得て育っていきます。そして、絵本には、子供が求めるおはなしの魅力がたっぷりと詰まっています。

赤ちゃんから2歳まで



くだもの

平山和子 さく
福音館書店 978-4-8340-0853-1



もこ
もこもこ

たにかわしゅんたろう さく もとながさだまさ え
文研出版 978-4-580-81395-3



もう
おきるかな?

まつのまさこ ぶん やぶうちまさゆき え
福音館書店 978-4-8340-1535-5



たまごの
あかちゃん

かんざわとしこ ぶん やぎゅうげんいちろう え
福音館書店 978-4-8340-1192-0

絵本は楽しむことが何より大切です。

絵本は字を覚えるためや、何かを学ぶために読むものではありません。絵本は楽しむために読むものです。絵本を読み聞かせていると、子供が楽しんでいる様子が伝わってきます。全身全霊でおはなしに聞き入り、我を忘れて夢中になり、終わるとほっと満足そうにため息をつきます。

読み終わった後に、いきなり質問などはせずに、「あーおもしろかった」という満足感を、子供とわかちあってください。

おつきさま
こんばんは



林明子 さく

福音館書店 978-4-8340-0687-2

どうすれば
いいのかな？



わたなべしげお ぶん おおともやすお え
福音館書店 978-4-8340-0768-8



しろくまちゃんのほっとけーき

森比志志、わだよしおみ、若山憲 著

こぐま社 978-4-7721-0031-1



がたんごとんがたんごとん

安西水丸 さく

福音館書店 978-4-8340-0272-0

子供は身近な大人に読んでもらうのが、何よりもうれしいのです。

子供は字が読めなくても、大人に読んでもらうことで、絵本を楽しむことができます。字が読めるようになって、子供は読んでもらうことが好きです。大人の読むおはなしを聞きながら絵を見ることで、自分で読むよりもずっと楽しむことができます。それだけではありません。身近にいる大好きな大人が、自分のために読んでくれることが、何よりもうれしいのです。

3、4 歳から

ねずみのいえさがし

ヘレン・ピアス さく
まつおかきょうこ やく
童話屋 978-4-924684-24-9



はらぺこあおむし

エリック＝カール さく
もりひさし やく
偕成社 978-4-03-328010-3

ぐりとぐら

ながかわりえこ と おおむらゆりこ
福音館書店 978-4-8340-0082-5



せきたんやのくまさん

フィービ と セルビ・ウォージントン さく・え
いしいももこ やく
福音館書店 978-4-8340-0175-4

絵本はたくさん読むより、 大好きな1冊を持つことが大切です。

大人は、どうしても新しい絵本や、もっと難しい絵本をどんどん読ませようとする傾向があります。大人が次から次へと、課題のように本を渡していくと、子供には重荷になることがあります。

たくさんの絵本を読むことよりも、1冊でも大好きな絵本を持ち、繰り返し読むことのほうが、ずっと大切です。

大人は、1回読めば何もかもわかったように思いますが、子供は初めて読んだときと同じように、読むたびごとにわくわくし、新しい発見をします。大好きな絵本から、深い喜びや励ましを受け取っているのです。「また同じ本」と言わずに、子供が望む絵本を、何度でも読んであげてください。

ガンピーさんのふなあそび

ジョン・バーニンガム さく
みつよしなつや やく
ほるぶ出版
978-4-593-50030-7



おやすみなさいおつきさま

マーガレット・ワイズ・ブラウン さく
クレメント・ハード え
せたていじ やく
評論社 978-4-566-00233-3



だるまちゃんとてんぐちゃん

加古里子 さく・え
福音館書店 978-4-8340-0124-2

子供の気持ちを受け入れて、 絵本を楽しみます。

大人は、本を最初から最後まで読むことが、読書だと思っています。でも赤ちゃんや幼い子供の場合は、いろいろな読み方があると考えてください。読み聞かせを始めた頃は、気に入ったページしか見なかったり、聞いている途中でどこかへ行ってしまったり、ページをめくりたがったりします。最後まで読み聞かせなくてはいいないと窮屈に考えず、子供の気持ちを受け入れて、つきあってください。

毎日同じことの繰り返しだなあと考えていても、そのうちに、子供は絵本には楽しいおはなしが詰まっていることに気がつきます。そして、静かに大人の声に耳を傾ける 때가来ます。

3、4 歳から

くまの コールテンくん

ドン＝フリーマン さく
まつおかきょうこ やく
偕成社
978-4-03-202190-5



こすずめの ぼうけん

ルース・エインズワース 作 石井桃子 訳
堀内誠一 画
福音館書店 978-4-8340-0526-4



かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック さく
じんぐうてるお やく
富山房 978-4-572-00215-0

ゆかいなかえる

ジュリエット・ケベシュ ぶん・え
いしいももこ やく
福音館書店 978-4-8340-0033-7



静かなときを過ごすことは、 とても貴重です。

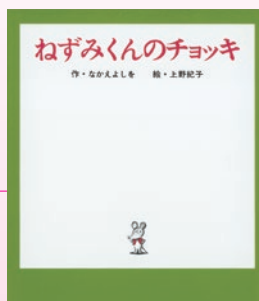
現代は、テレビやパソコンなどの映像や音声に触れる機会が大変多くなっています。このような情報メディアが、幼い子供の成長に及ぼす影響については十分わかっていませんが、相対的に、静かに絵本を読んだり、親子で言葉を交わす機会が少なくなっていると言えます。

赤ちゃんは、大人からの語りかけや歌により、言葉を身につけていきます。そして、わずか2、3年の間に、複雑なコミュニケーションがとれるようになります。このような驚異的な発達には、大人が赤ちゃんの顔と顔を合わせ、言葉と言葉のやりとりをしてこそ可能なことです。

ときにはテレビを消して、静かなときを過ごしてください。そのひとときに、たっぷり絵本を読んであげてください。

ねずみくんのチョコッキ

なかえよしを 作
上野紀子 絵
ポプラ社 978-4-591-00465-4



ちいさな うさこちゃん



ディック・ブルーナ ぶん・え
いしいもこ やく
福音館書店 978-4-8340-0026-9

おさとぼうしうり



エズフィール・スロボドキーナ さく・え
まつおかきょうこ やく
福音館書店 978-4-8340-0979-8

絵本は読んだ後も子供の 心の中で育ちます。

子供に絵本を読み聞かせることは、心に種をまくようなものです。心の中にまかれた絵本は、いつか子供の生活にひょっこり芽を出します。絵本のなかの言い回しを突然上手に使って、周囲を驚かせることもあります。日常生活の中に絵本と同じ場面を見つけたり、おはなしを演じて、ごっこ遊びを楽しむこともあります。もっと大きくなってから、何かのきっかけで絵本を思い出すこともあるでしょう。

5、6 歳から



どろんこハリー

ジーン・ジョンソン
マーガレット・ブレイ・グレアム え
わたなべ しげお やく
福音館書店 978-4-8340-0020-7



きつねのホイティ

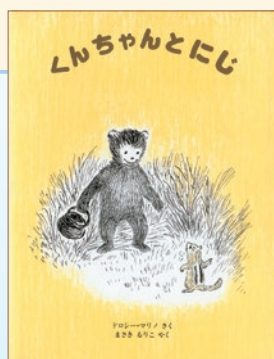
シビル・ウェッタシンハ さく まつおかきょうこ やく
福音館書店 978-4-8340-0198-3



めっきらもっきらどおんどん

長谷川摂子 作 ふりやなな 画
福音館書店 978-4-8340-1017-6

絵本は、読んだらそれで終わりではなく、子供の心の中でまた新しい芽を出し、成長し続けるのです。それが、将来その家庭の共通の思い出や、歴史になるかもしれません。



くんちゃんとなじ

ドロシー・マリノ さく まさきるりこ やく
ペンギン社 978-4-89274-029-9



しょうぼうじどうしゃじぶた

渡辺茂男 さく 山本忠敬 え
福音館書店 978-4-8340-0060-3



ゆきのひ

エズラ＝ジャック＝キーツ ぶん・え
きじまはじめ やく
偕成社 978-4-03-328120-9



ラチとらいおん

マレーク・ペロニカ ぶん・え
とくながやすもと やく
福音館書店 978-4-8340-0045-0

Q どんな絵本を選べばよいのですか？

新しい絵本にもすぐれたものがたくさんありますが、まずは20年、30年と読み継がれてきた絵本を読んであげてください。

長年読み継がれてきた絵本は、何世代にもわたって子供たちが楽しみ、支持してきたものです。今も昔も変わらず子供に喜びを与えます。また大人も深い満足を得ることができます。子供の文化として、これまで伝えられてきた絵本を次の世代にぜひ手渡したいものです。

5、6歳から



ピーターラビットのおはなし

ビアトリクス・ポター さく・え
いまいもこ やく
福音館書店 978-4-8340-1855-4



すてきな三にんぐみ

トミー＝アンゲラー さく
いまいよしと やく
偕成社
978-4-03-327020-3



ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイグ さく せたていじ やく
評論社 978-4-566-00835-9



いたずらきかんしゃ
ちゅうちゅう

バージニア・リー・バートン ぶん・え
むらおかはなこ やく
福音館書店 978-4-8340-0004-7

Q 絵本を読んだことがなかったり、 本が苦手な子供にはどうすればよいですか？

子供は絵本だけで育つものではありません。友だちと遊んだり、家族や周囲の人と話したり、様々な経験を積み重ねて、育っていきます。これまで絵本を読んだ経験がなくても、今から読み始めてあげれば、きっと楽しんでくれるでしょう。

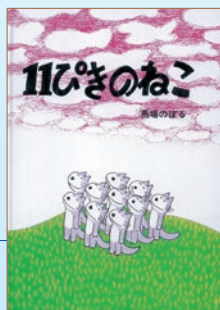
子供が本を苦手を感じているときには、その子の年齢よりやさしくて短い絵本や、音や言葉の響きを楽しむ言葉遊びの絵本、知っている昔話の絵本などを選ぶと良いでしょう。

また、一人ではじっと座ってられないような子供でも、図書館のおはなし会などに参加し、おはなしを聞くのが上手な子供たちと一緒に過ごすと、楽しめることもあります。



ふたりはともだち

アーノルド・ローベル 作 三木卓 訳
文化出版局 978-4-579-40247-2



11ぴきのねこ

馬場のぼる 著
こぐま社
978-4-7721-0004-5



ひとまねこざると
きいろいぼうし

H. A. レイ 文・絵
光吉夏弥 訳
岩波書店
978-4-00-110921-4



よかったね
ネットくん

シャーリップ さく やぎたよしこ やく
偕成社 978-4-03-201430-3

Q 読み方が下手でも大丈夫ですか？

上手に読むことより、大人も子供と一緒に絵本を楽しむことが大切です。目の前の用事は少し忘れて、絵本の中のおはなしに心を寄せて、ゆっくり読んであげてください。

演じて読む必要はありません。おはなし自体が面白いのですから、心を込めて自然に読めば、子供は想像をふくらませることが出来ます。あまり劇的に読むと、かえって絵本の世界を楽しむ妨げになることもあります。

昔話絵本



かにむかし

木下順二 文 清水崑 絵
岩波書店 978-4-00-110577-3



おおきなかぶ ロシアの昔話

A. トルストイ 再話 内田莉沙子 訳 佐藤忠良 画
福音館書店 978-4-8340-0062-7



おおかみと七ひきのこやぎ グリム童話

フェリクス・ホフマン え せたていじ やく
福音館書店 978-4-8340-0094-8

Q 赤ちゃんに絵本は必要ですか？

赤ちゃんは、生まれつき、人の声や顔に関心を持ちます。赤ちゃんに話しかけたり、歌いかけたり、笑顔を向けると、手足をばたばたさせて、とても喜びます。このように、周りの大人たちと言葉や笑顔をかわしながら、赤ちゃんは育っていきます。

言葉や心のやりとりの一つの方法として、絵本を使ってみることも良いでしょう。絵本を見せながら、ゆっくり語りかけてください。絵本を通して赤ちゃんに仲良くする、遊ぶという気持ちでやってみてください。赤ちゃんが関心を持てば続けるし、絵本を放ってしまうようなら、また次の機会にします。



ももたろう

松居直 文 赤羽末吉 画
福音館書店 978-4-8340-0039-9



三びきのやぎの
がらがらどん
ノルウェーの昔話

マーシャ・ブラウン え せたていじ やく
福音館書店 978-4-8340-0043-6



てぶくろ
ウクライナ民話

エウゲニー・M・ラチョフ え うちだりさこ やく
福音館書店 978-4-8340-0050-4



やまんばのにしき

まつたにみよこ ぶん
せがわやすお え
ポプラ社
978-4-591-00375-6

Q どこで絵本を手に入れたらよいですか？

近くの図書館に行くことをお勧めします。図書館には、長年読み継がれた絵本がたくさんあります。その中から、自由に選んでみてください。また子供の読書について、知りたいことを職員に相談することもできます。

そして、繰り返し楽しむような絵本が見つかったら、買いそろえるのも良いでしょう。

子供の好きな絵本を少しずつそろえ、子供の本のコーナーを作っておけると、とても喜びます。





絵本をもっと読みたい方へ

創作絵本

楽しいおはなしがたっぷり詰まった絵本は、子供に大きな満足感を与えます。ゆっくりと読みながら、子供と絵本の喜びをわかちあってください。

ゆかいなお話

書 名	著者名等	出版社	ISBN
わゴムはどのくらい のびるかしら？	マイク・サーラー ぶん ジェリー・ジョイナー え きしだえりこ やく	ほるぷ出版	978-4-593-50402-2
ふしぎなナイフ	中村牧江、林健造 さく 福田隆義 え	福音館書店	978-4-8340-1407-5
やさいのおなか	きうちかつ さく・え	福音館書店	978-4-8340-1438-9
おさをあらわなかった おじさん	フィリス・クラジラフスキー 文 バーバラ・クーニー 絵 光吉夏弥 訳	岩波書店	978-4-00-115135-0
おおきなおきなおいも	赤羽末吉 さく・え	福音館書店	978-4-8340-0360-4

家族といっしょ

書 名	著者名等	出版社	ISBN
ちびゴリラのちびちび	ルース・ボーンスタイン さく いわたみみ やく	ほるぷ出版	978-4-593-50077-2
ティッチ	パット・ハッチンス さく・え いしいももこ やく	福音館書店	978-4-8340-0449-6
おやすみなさいフランシス	ラッセル・ホーバン ぶん ガース・ウィリアムズ え まつおかきょうこ やく	福音館書店	978-4-8340-0059-7
おふろやさん	西村繁男 作	福音館書店	978-4-8340-0962-0

長くてたっぷり楽しめる物語

書 名	著者名等	出版社	ISBN
つきのぼうや	イブ・スパング・オルセン さく・え やまのうちきよこ やく	福音館書店	978-4-8340-0456-4
アンディとらいおん	ジェームズ・ドーハーティ ぶん・え むらおかはなこ やく	福音館書店	978-4-8340-0003-0
チムとゆうかんな せんちょうさん	エドワード・アーディゾーニ さく せたていじ やく	福音館書店	978-4-8340-1711-3
ぐるんぱのようちえん	西内ミナミ さく 堀内誠一 え	福音館書店	978-4-8340-0083-2
100まんびきのねこ	ワンダ・ガアグ ぶん・え いしいももこ やく	福音館書店	978-4-8340-0002-3
サリーのこけももつみ	ロバート・マックロスキー 文・絵 石井桃子 訳	岩波書店	978-4-00-110590-2

自然の中で

書 名	著者名等	出版社	ISBN
はなをくんくん	ルース・クラウス ぶん マーク・シーモント え きじまはじめ やく	福音館書店	978-4-8340-0095-5
よもぎだんご	さとうわきこ さく	福音館書店	978-4-8340-0825-8
ターちゃんとペリカン	ドン・フリーマン さく さいおんじさちこ やく	ほるぷ出版	978-4-593-50007-9

知識の絵本

子供は小さな自然を見つけ出す名人です。普段見過ごすような小さな花や虫、空や風のありさまに気づき、一生懸命大人に伝えてくれます。新しい世界を発見した子供の驚きや喜びに、どうか耳を傾けてあげてください。

書 名	著者名等	出版社	ISBN
たんぽぽ	平山和子 ぶん・え 北村四郎 監修	福音館書店	978-4-8340-0470-0
かさぶたくん	やぎゆうげんいちろう さく	福音館書店	978-4-8340-1640-6
こいぬがうまれるよ	ジョアンナ・コール 文 ジェローム・ウェクスラー 写真 つばいいくみ 訳	福音館書店	978-4-8340-0912-5

ことばあそびの絵本

リズム感のある言葉を聞くと、子供は喜んで体を揺らしたり、繰り返して言おうとします。絵本を通して言葉の世界を楽しむことができます。

書 名	著者名等	出版社	ISBN
めのまどあけろ	谷川俊太郎 ぶん 長新太 え	福音館書店	978-4-8340-0965-1
どうぶつはやくち あいうえお	きしだえりこ 作 かたやまけん 絵	のら書店	978-4-931129-66-5
かぞえうたのほん	岸田衿子 作 スズキコージ え	福音館書店	978-4-8340-1043-5
ことばあそびうた	谷川俊太郎 詩 瀬川康男 絵	福音館書店	978-4-8340-0401-4
これはのみのぴこ	谷川俊太郎 作 和田誠 絵	サンリード	978-4-914985-01-1



わらべうたでゆったりと。

日本には、古くから伝わってきた、子供たちが遊びながら歌うわらべうた、赤ちゃんをあやしたり、寝かせたりするときに歌う手遊びや子守唄などがあります。

これらの歌は、心地よいリズムや楽しく不思議な言葉で溢れ、語りかけるように歌い始めると、赤ちゃんは、やさしい声音に表情をやわらげます。その表情を見て、大人は嬉しく、ゆったりとした気持ちになり、赤ちゃんと心を通じ合わせることができます。

わらべうた・手遊びの本



あんたがたどこさ
おかあさんと子どものあそびうた

ましませつこ 絵
こぐま社 978-4-7721-0137-0



あがりめさがりめ
おかあさんと子どものあそびうた

ましませつこ 絵
こぐま社 978-4-7721-0119-6

子供は成長すると、自分でわらべうたを歌い、友達と手をつなぎ遊ぶようになります。みんなといっしょに遊ぶことで、さまざまな体験をし、成長していきます。



あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん

小林衛己子 編 大島妙子 絵
のら書店 978-4-931129-74-0



みんなであそぶわらべうた

近藤信子 編・遊び方指導 梶山俊夫 絵
福音館書店 978-4-8340-1402-0

自分一人で読んだときには、つまらないと思っていた絵本が、子供と一緒に読むと、急に輝きを増したり、子供の一言で新しい発見をすることがあります。子供の豊かな感性に驚かされ、子供から多くのことを学びます。

それは、子供の身近にいる大人だけが得ることのできる幸せです。絵本を通して幸せを存分に受け取ってください。



東京都立多摩図書館児童青少年資料担当では、子供の本や読書についてのご質問、ご相談をお受けしております。

いつでもお気軽にご利用ください。

問合せ先

東京都立多摩図書館 児童青少年資料担当

電話 042-359-4109



東京都子供読書活動推進資料

しずかなひととき 乳幼児に絵本の読み聞かせを一改訂版—

平成17年3月29日発行

平成30年1月26日改訂

編集・発行 東京都立多摩図書館

〒185-8520

東京都国分寺市泉町2-2-26

電話 042-359-4109

FAX 042-359-4121

印刷物登録番号 平成00年度 第000号

デザイン 山浦印刷株式会社

印刷 ○○○○○○

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH
SOYINK

大豆由来の大豆インキを使用しています



東京都教育委員会